

自治体、医療福祉、建築の専門家向け学習会（案）

「常陸大宮市民を熱中症・ヒートショックから守るために」

趣旨）近年は 40℃を超えることも多く、断熱の乏しい家にお住まいの方は「エアコンが効かず」救急搬送の原因になることがあります。また冬の寒さによるヒートショックによる救急搬送も全国で年間 10 万人を超えるようになってまいりました。隣の栃木県では冬の死亡率ワーストワンを県庁、地元医師会、自治医大連携で返上しています。茨城県においては常陸大宮市が行政、医療福祉、住宅の専門家が連携し、市民が熱中症や人ショックから命、健康を守るための啓発や命を守るスペースを確保する一部屋改修等に取り組んでゆければと考えます。そのための専門家学習会を開催いたします。

日時：2026 年 9 月 2 日（水） 14：00 ～ 16：00

場所：おおみやコミュニティセンター多目的室・研修室 4

定員：100 名まで

参加申し込み

はこちらから



<https://docs.google.com/forms/d/1sSjNOa6eHllm-N0bijCo3Q0STirwZyfKpF7M->

【次第】

開会：14：00 ～ 14：20

補助事業主体者挨拶：（一財）住宅・建築 SDGs 推進センター 理事長 伊香賀 俊治 氏

趣旨説明：（一社）健康・省エネ住宅を推進する国民会議 理事長 上原 裕之 氏

（同 補助事業 業務受託者）

参加者紹介：地元建築士会、三師会、看護協会、介護支援専門員協会、地域包括センター等

「講演 1」

住宅と健康のエビデンスについて（案）（14：20～15：00）

（一財）住宅・建築 SDGs 推進センター 理事長 伊香賀 俊治 氏（慶應義塾大学名誉教授）

「講演 2」

地域包括ケアシステムにおける住環境の重要性（案）

医療法人博仁会 理事長 鈴木邦彦氏（元茨城県医師会会長）（15：00～15：20）

意見交換：15：20 ～ 16：00

閉会

※本協議会は、令和 8 年度国土交通省補助事業『カーボンニュートラルの実現に向けた住宅・建築物の体制整備事業 事業主体 一財 住宅・建築 SDGs 推進センター』のうち『医療福祉建築自治体連携による「命を守るひと部屋断熱」等の省エネ改修普及事業 業務委託先 一社 健康・省エネ住宅を推進する国民会議』の活動として実施するものです。